

レトロな大正館で忘年会 忘年山行(鷹取山・大楠山～衣笠)

実施日 2016年12月10日(土)～11日(日)

天候 晴

リーダー 一柳 昭

ガリダー 白石 恵美子

参加者 (若村貴世子)(若村勝昭) 服部美千代、一柳昭、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、(安田三恵子)(小村井好枝) 石附智江、渋谷京子、中村友子、石原勝正、宇野輝代(関塚七海) 石附恵理子、宮崎敏男、阿部一郎、阿部みゆき 計19名

12/11 1班14名(2班5名)

費用 東京駅～東逗子駅 918円

神武寺駅～新逗子駅 13円3

逗子駅～前田橋BS 370円

衣笠駅～東京駅 1,080円

宿泊費 13,000円 合計 15,501円

タイム 12/10 東逗子駅(9:50～10:18)表参道登山口(10:23)神武寺(10:40～10:50)鷹取山(11:10～12:00)昼食神武寺(12:25～12:30)裏参道登山口(13:05)神武寺駅(13:10～13:15)京急・新逗子駅(13:18～13:30)逗子市郷土資料館(13:50～14:38)文学記念碑「太陽の季節」(14:43～14:47)浪子不動(15:08～15:13)披露山公園(15:28～15:35)KKR松汀園(15:55)

12/11 KKR松汀園(8:45)逗子駅(9:05～9:23)前田橋BS(9:55～10:00)前田川遊歩道(10:05)大楠山(11:30～12:10)昼食阿部倉温泉分岐(12:40)衣笠城址(14:00～14:05)衣笠山公園(14:33～14:40)衣笠駅(15:20～15:34)

12/10 東逗子駅で集合の後、表参道を30分程登ると神武寺に着く。神武寺は724年に始まり鎌倉幕府時代には源氏に崇敬された天台宗の



お寺です。境内にある推定樹齢400年の高くそびえる「なんじゃもんじゃの木」(ホルトノキ)は非常に面白い。

さらに岩がちな山道を30分程登って行くと視線の先に岩壁が鋭くそそり立っている。見る角度によっては小さなマッターホルンのようにも見える。山頂は石切場跡を利用して多くのクライマーが岩壁に取り付いている。



奥にある階段から登り展望台からは伊豆半島、房総半島、東京湾、三浦半島が一望でき素晴らしい。



山頂の広場で昼食を取り、神武寺に戻りヒノキ並木の裏参道を下り神武寺駅に着く。ここから京浜急行に乗り

新逗子駅に移動する。

ここから「なぎさ～ふれあいロード」が始まる。まず蘆花記念公園内にある逗子市郷土資料館に寄る。逗子市郷土資料館の建物は大正時代の建築で徳川宗家第16代当主家達の別邸として使われていた由緒があります。特に海側の眺めは素晴らしい。

徳富蘆花を中心に逗子にゆかりのある文学者の作品などや民俗資料が示されている。11月に下見に来たときに本日団体で来訪すると話してあったので係員が丁寧に案内してくれた。さらに裏庭から下るコースを案内していただきピクニック時の紅葉を楽しめた。





次は逗子海岸に出て文学記念碑「太陽の季節」を経て海岸を歩き浪子不動へ。浪子不動は元は波切不動と呼ばれたが目の前の海岸に福富蘆花の

「不如婦の碑」が出来あまりにも有名になったためいつの間にか浪子不動になってしまった。浪子不動の裏の山道を15分程登ると披露山公園に着く。鎌倉時代に全国から源頼朝に献上された献上品を家臣たちに披露したことから披露山と名付けられた。現在は展望台、猿の小屋、レフトハウスなどがあり公園になっている。展望台からの展望を楽しんだ後、別のコースで下りKKR松汀園（大正12年に建てられた日本建築の大正館は、ほぼ昔のままの古き良き時代を懐かしく感じる湘南逗子の隠れ宿です。）に着く。

忘年会の部（18：00～20：00）

忘年会までの時間は風呂に入ったり、軽く一杯やっていたましたが役員達は準備で大忙し。

忘年会は乾杯の音頭で始まった。美味しい料理（葉山牛サーロイン陶板焼、先附、刺身、



さぎえの直火焼き、鰯のたたき、焼き物、揚げ物、煮物、にぎり寿司、お椀、デザート）をいただきお腹が一杯になったところで恒例のビンゴゲームが始まった。涌井さん特製のカードを参加者に一枚ずつ引いてもらい、ビンゴが出るたびに盛り上がりました。順番に当たった景品を披露してもらい、その度に盛り上がりました。

二次会の部（20：20～22：20）

忘年会終了後に席を片付けてもらい同じ場所で二次会が始まり、これまた盛り上がり2時間ほど過ぎました。

12 / 11 第1班 14名

KKR松汀園を出て逗子駅からバスで葉山の海を見ながら30分程で前田橋バス停に着く。従来は車道を登山



口まで歩くが、数年前に整備された前田川遊歩道に出る。前田川沿いをせせらぎや鳥の鳴き声を聞きながらミニ溪谷を30分ほど歩くと登山口に着く。歩き易い道を1時間ほどで山頂に。大楠山は標高242mの



低山ですが山頂からは相模湾を始め三浦半島を一望できる。

衣笠方面のコースは現在横須賀市ごみ処理施設の工事のため阿部倉温泉分岐に出て迂回路を歩く。途中横浜横須賀道路のパーキングエリアの裏から入り大休息をとる。

この後は衣笠城址に向かう。衣笠城は鎌倉時代に三浦半島を治めた三浦一族の山城で丘陵全体を城とした大規模なものでしたが現在は遺構らしきものは殆ど残っていません。丘陵の中腹をトラバースするような山道を歩き本丸に着きます。

春には桜の花見で賑わうそうですが今は冬で我々以外はおらず閑散としています。



本丸から尾根伝いに下り一旦下に下りてから標高差は少ないといえ衣笠山公園に登り返します。この展望台も展望が素晴らしいです。ここからはずっと下りを歩き衣笠駅で解散しました。

第2班 5名 自由行動

（記・一柳 昭）

（写真提供・涌井良明、石原勝正）